

★ 星の文藝欄 ★

宮島天體觀測所にて

田 子 甫 人

○

圓蓋の春空重し天文臺
天文臺浮く白雲と夜櫻と
朧夜の地は横たはる天文臺
森閑と天測室の春の闇
星雲は朧に天はかぎり無く

○

夏の街天文臺の灯る見ゆ
涼風のはてに煌く星測る
天文臺たゞ涼風の濟るのみ
蒼穹の星を衛りて白夜果つ
夏雲の四方に動ける天文臺

○

宮島氏所藏天球儀3句

秋深くとり出て古き天球儀
秋の灯に大き影もち天球儀
天球儀前に秋夜の遅々と更く

○

階段へ秋の燭採る天文臺
秋閑けし階踏み踏みて天文臺
宵闇の狭き階踏む天文臺
星衛る四邊の扉ひそと閉づ
世を距つ扉の裡に星を観る

燦爛の星座まともにドム開く
 スリツトに廻るオリオン面のあたり
 天文臺星の光の外はなく
 星指して望遠鏡のひた向きに
 望遠鏡ひたと合せて星と更く
 天の川ややに傾く天文臺
 星衛る衣に露の重りつゝ

○

天文臺地の面に著き雪の嶺
 寒星を指してレンズの澄き透る
 天文臺燭はやらがず霜降る
 地は凍えて四肢は凍えつゝ星と活く
 地は凍えて星座おのおの移るのみ

○

宮島天體觀測所主

新星と語る瞳の輝かに

日食座談會開催

日時 7月19日(日) 午後6時30分より

場所 京都市東一條 帝大學友會館

花山天文臺日食觀測隊諸先生及び京阪地方より北海道
 へ出張せる會員を中心として6月19日の日食を語る
 會・觀測發表、寫眞展觀・會員諸氏の多數出席を希望
 する。

京星會・東亞天文協會